

防止用マットなど日常生活用具の貸与⑮ボランティア連絡協議会の設置・活動⑯老人ホームへの収容⑰増改築資金の貸し付け

## 調和のとれた町の発展を

### めざして／新年度財政方針

などがあげられるが、老人対策については、国・県と共に、町も重要なテーマとしてこれに取り組んでいる。



爆発するエネルギーを町づくりの活力に  
(町民体育祭から)

## 5か年計画の 進ちよく状況

問 町5か年計画の目標はどの程度達成されたのか伺いたい。

答 5か年計画は、(1)魅力ある郷土をつくるための生活基盤の整備(2)快適な生活をお

## 60年度予算

### 重点施策

問 昭和60年度の予算編成にあたっては、何を重点として取り組んでいくのか。

答 厳しい財政事情下ではあるが、行財政全般にわたる調和に留意しながら、産業開発道路の建設をはじめ、新青・東線の改良、横芝小わきから栗山

くるための生活環境の整備(3)心豊かな生活をおくるための福祉対策の充実(4)豊かな町民生活を実現するための産業の振興(5)健康で文化的な人づくりのための教育文化の振興——の5項目を柱として施策を盛り込み、その実現に努めている。  
財政的な問題や時代の変化などから、すべての計画が予定通りというわけにはいかないが、総じては順調に進ちよくしていると考えられる。

## 大総地域の発展を重点 施策に／騒音下の振興策

問 航空機飛行直下の、旧大総土地改良区流域とその周辺一帯は、農業用排水路や農道の整備が著



大総地域発展のカギとなる  
坂田遠山線改良事業

しく立ち遅れている。今後どのようにこの地域の産業振興を推進し、住民福祉の向上を図っていく方針なのか。  
答 大総地域については、騒音を切り離して町政を進めることはできない。このため、これまででもできる限りこの地域

方面に至る幹線道路への歩道設置、農村総合整備モデル事業、取立・長倉・姥山方面への排水路整備、商工業振興策としての工業団地計画の推進や商協対策、コミュニティづくりを目的とした地区集会所の建設などを重点施策として、積極的な町づくりを努めていく方針である。  
問 町の予算は、どのような手順で編成されていくのか。  
答 まず、町長が作る予算編成方針に基づいて、各課から財政担当課へ予算要求書が

提出される。これをもとに、数回にわたって事情を聴取し、協議を行った上で、最終的に予算を編成する。  
問 国の超緊縮型予算は、地方自治体への財政負担の肩代わりを意味するものと受け取れる。とりわけ、福祉予算への影響が憂慮されるが、町への影響はないか。  
答 心配されている国の福祉予算1割カットは、現状では県が肩代わりをしているので、町の負担とはならない見込みである。

## 契約の議決

問 町では条例の定めによつて、契約予定価格が三千万円以上の工事または製造の請負については、議会の議決を要するとされている。  
当初契約時に三千万円未満のものであつても、追加契約で三千万円を超えることが当初から明らかなる場合は、どのような措置をするのか。

答 分割できない性格の契約であれば、三千万円を超えた時点で、議会の議決を求めることになる。

の仕事を優先し、重点を置いてやってきた。  
まず第一種区域内の集落には、共同利用施設を建設して、地域住民の福祉向上に役立ててきた。  
農政面では、高谷川流域一帯に成田用水事業を適用させ、整備を進めてきたほか、この区域内では、長倉から取立にかけて特別排水事業を実施してきた。残された上流については、今後別の事業で整備を図っていく。  
また、長倉から姥山・遠山にかけての排水路については、60年度事業として補助採択を要望していく予定である。